

## 副理事長 井星 幸雄

現在の J C は、全国的にも会員数の減少や平均在籍年数の短いメンバーが多くなっています。会員の減少は J C の運動や活動などの予算が減少するだけでなく、新たな出会いや地域活性化の事業縮小につながっていきます。先輩諸兄姉から受け継いできた奉仕・修練・友情の三信条と八女 J C の歴史を引き継いでいく中で、5 年後、10 年後に今まで以上の強固な組織づくりを目指し、地域により良い影響を与える組織へと成長していく必要があります。

まずは、副理事長として理事長の意思を尊重しつつ議長へとしっかりと落とし込むとともに議長の意見や要望も理事長へとしっかりと伝えていく所存です。そして、しっかりとした情報共有し現役メンバーと会員拡大連絡会議議長の密な連携のサポートを行う事により新入会員候補者の情報を、新入会員の面接へとつなげる事により正会員拡大へと広がっていくと考えます。さらに、拡大するだけでなく入会後もしっかりと協力し合いフォローしていくことで同時に、次の入会候補者につながるだけでなく退会者を出させないという動きにつながっていきます。また、渉外担当連絡会議議長の各団体への出向から、行われる事業への参加、参画によりメンバー全体が他団体の運動や活動の情報共有ができ、今後の動きなどが見えてくることで、メンバー一人ひとりの意識の変革が八女地域の成長へとつながっていくと確信します。そして、先輩諸兄姉との情報共有が新入会員候補者の獲得や各事業への刺激につながるとともに、今後の J C や J A Y C E E の在り方や進むべき道しるべになっていくと考え全力でバックアップしてまいります。

今まで、八女 J C が歩んできた道は決して緩やかで穏やかな道ではなかった事は確かです。65 周年の節目を乗り越え、70 周年に向けた大きな一歩を踏み出す 1 年として私たちが心を一つに、一つのことを心に込め八女地域の明るい未来を創っていくのです。